

視点

View Point

若麻績 憲義 氏

公益社団法人長野青年会議所
2026年度理事長

長野青年会議所は今年度、スローガン「真華々時を得るために」のもと、一人ひとりが「進化」し、市民の皆様に向けて「真価」を発揮します。事業では、二大まつりである長野びんずる、長野灯明まつりに加え、11月に実施予定の新規事業、青少年事業の新しい取り組みにもご注目をください。この一年、「明るい豊かな社会」を揺るがず目指し、皆様から寄せられる期待に全力で応えてまいります。

真理を追究して一歩ずつ進化し、市民の皆様へ真価を発揮する一年に



PROFILE
1989年12月17日生まれ。大正大学で4年間仏教を学びながら、週末は横浜の寺院で修行。その後3年間同寺院で奉公し、2016年に自坊の善光寺淵之坊に入山。2017年に長野青年会議所に入会し2021年に国際交流委員長、2023年に副理事長、2026年に理事長を歴任。

理事長に就任以来、長野J.C.に在籍する113名のメンバーが、私がやりたいことのために動いてくれている、その責任を日に日に感じていきます。皆のためにも自分が一番頑張り、先輩たちの名に恥じないようにやり切ります。

11月に 市民参加型の新しい事業を計画

—— 今年度はどんな事業に取り組みますか。若麻績 主に4つの事業についてお話しします。まずは長野J.C.を代表する事業である長野びんずる、長野灯明まつりを今年も市民の皆様楽しんでいただけるよう計画し、実施します。

長野びんずるは昨年、長野商工会議所のお力によりEXILEのMAKIDAIさんをお招きし、コロナ明け最多の来場者で盛り上がりました。その数を今年さらには上回る思いで現在企画しています。

一方、長野灯明まつりは厳しい寒さゆえ観光客の皆様が歩かない時期に人を動かし、長野オリンピックのレガシーを継承することを目的に、若林健太さんらの世代が始められました。世界的に平和がキーワードとなっている時代に、このお祭りから世界平和を発信していきます。

11月には地域に密着した新しい事業を計画しています。善光寺表参道周辺を舞台として、幅広い世代の市民の皆様が長野市の魅力、文化に五感で触れられるような事業にしますのでご期待

ください。

青少年事業は、長野J.C.の創立直後から取り組んでいる事業です。未来の宝である子どもたちのため、今年「生きる力、やり抜く力」をテーマに実施します。社会の厳しさや自分の思い通りにならないことを嘆いたり、誰かのせいにしてたりする前に、まず今に感謝すること、ここぞというときは歯を食いしばって踏みとどまる勇氣、これと決めたことをやり抜いていく心の芯を育てたい、そして、どんな環境でも、心の芯さえあれば自分で道を切り開けるし、そのため手段はいろいろあることを、少しでも伝えたいと思っています。

もう一つ、会員拡大も肝煎り事業です。10年前は会員数200名を数えた長野J.C.でも会員減少が続いています。「数は力」ではないですが、事業は主に会員の会費によって構築されますから、会員が減れば事業規模は縮小します。補助金に頼らざるを得ない状況が生じます。

そこで、3月から毎月異業種交流会を開催して、まずはさまざまな業界で活躍する人の魅力を伝え、ビジネスマッチングの機会を創出します。その先に、1人でも多くの方にJ.C.の活動の素晴らしさを知っていただき、自己成長につながるきっかけをつかんでもらえたらと願っています。

ガッツあふれる 青年らしく突っ走る一年に

—— 長野商工会議所との連携について、お考

スローガンは「真華々時を得るために」

—— 長野青年会議所の2026年度理事長に就任されました。抱負をお聞かせください。若麻績 理事長就任にあたり、今年度のスローガンに「真華々時を得るために」を掲げました。

長野青年会議所の歴代のスローガンには、理事長の個性が各々表れています。もし、この役職に就くチャンスを得ただけなら、私が入会した2017年度以降多かつた漢字2文字を使い、耳に残る響きのよい言葉で、直感的に分かるスローガンにしたいと考えていました。

そこで、気に入っていた「しんか」という言葉を使い、私たちが「進化」すること、唱和するキーワード（信条）冒頭の「真理は人生に意義と目的を与える」から着想を得て、「真華」としました。この一年、真理を追究して真理の華を咲かせます。

むろん、真理にたどり着くことは一生かかってもできないかもしれません。それでも、私たち一人ひとりは、「明るい豊かな社会」を目指して一歩ずつ「進化」すべきであり、また、市民の皆様に向けて「真価」を発揮すべきだと思うのです。

サブスローガンの「時」とは、過去、現在、未来を一字に表したものです。長野青年会議所73年の歴史において、偉大な先輩たちが青年会議所（以下、J.C.）活動に取り組みしてきました。歴代の市長しかり、長野商工会議所の水野会頭しかり。長野市を代表する人たちがJ.C.に入り、地域を盛り上げてくれました。これら先輩に感謝し、現役メンバーの私たちがもつと頑張り、その頑張りが未来のJ.C.にもつながるように、過去、現在、未来、そのすべてを視野に入れ、活動に取り組んでいきます。

えのことをお聞かせください。

若麻績 長野商工会議所には、特にお祭り事業に関して、ご支援やご協力という言葉では収まりきれないほどお世話になっています。私どもとしても、長野えびす講演火大会へぜひお手伝いさせていただき、また、塚田副会頭が企画された働く女性会議にも参画して、先ほど申し上げた異業種交流の場にもつなげていきたいと考えます。今後とも長野商工会議所との連携のなかで、私たちは切磋琢磨に努めます。さらに、長野商工会議所青年部、経営者協会、協賛企業様も含め、皆様も私どもに寄せられる「ガッツ」にあふれる青年らしく突っ走れ」との期待に全力で応えてまいります。

最後に、本誌読者でいらっしゃる会員企業の皆様へ。日ごろより長野J.C.の事業へご理解とご協力ご支援をいただき、本当にありがとうございます。私たちは「明るい豊かな社会の実現」を揺るぐことなく目標に掲げ、奉仕、修練、友情の三信条を大事にしている団体です。引き続きご支援ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、長野J.C.の理念と信条に共感いただける方がいらっしやればぜひ私たちの活動にご参加ください。

DATA
公益社団法人長野青年会議所
[設立] 1953(昭和28)年
[所在地] 長野市七瀬中町276
(長野商工会議所3階)
[TEL] 026-228-3260
[事業内容] まちづくり、ひとづくり、環境、福祉、国際交流、青少年育成

横顔

長野J.C.が今は生活の一部。ただ、出張等がない限り善光寺のお朝事のお勤めには出て、月の半分ほどある宿直にも長野J.C.の活動を終えたその足で向かう。